令和２年度第１回金沢市景観審議会

日　　時：令和２年 11 月２日（月）　午後２時～午後３時 40 分

会　　場：金沢市第二本庁舎３階　2301 会議室

出席委員：福光会長、鍔副会長、宇佐美委員、関戸委員、玉田委員、土田委員
　　中川委員、中村委員、中森委員、馬場先委員、吉田委員、近藤委員

欠席委員：川﨑委員、坂本委員、能木場委員、柳井委員、浅井委員

事 務 局：都市整備局　　坪田局長
　　景観政策課　　本光課長、不破補佐、福塚係長、伊関主査、芹原主査、米田技師
　　都市計画課　　松矢課長
　　緑と花の課　　柳沢課長、竹村係長
　　建築指導課　　坂上課長
　　歴史都市推進課　石浦課長

1　開会

2　都市整備局長あいさつ

3　委員紹介
　会長および副会長の選任

4　報告案件
　・令和２年度上期景観政策について
　・令和２年度上期専門部会審議結果について
　　1）建物部会
　　2）用水みちすじ部会
　　3）緑化推進部会

―――事務局からの説明―――

（会長）

各専門部会からの報告を頂きましたが、ご質問、ご意見等があれば挙手の上、発言をお願いします。

―――黒松の移植について（緑化推進部会）―――

（副会長）

緑化推進部会報告の黒松の移植について、黒松の移植先の選定をきちんとして頂けました。前田利家公像の前で記念写真を撮る方が多いということもあり、石川門が背景にあるという場所作りをして頂き、非常に配慮して頂けました。保存樹について研究しているが、割と道路から見えない位置のものが多いが、今回移植された松の樹形が非常に立派であり、

皆さんがご覧になられる場所に移植されたということはよかった。非常に大工事であり、私も見てきましたが、非常によかったです。

（会長）

ほかに意見はございませんか。

―――美大建設工事について（建物部会）―――

（副会長）

建物部会報告の美大建設工事について、前面道路の県道整備事業について、どのような計画になっているのか教えていただきたい。

（会長）

私も確認したい。崎浦交差点との取り付け道路と美大の入口との関係を説明して頂きたいです。

（事務局）

図面下側の道路がアクセス道路、右側は崎浦交差点、左側は牛坂の方に向かう道路になります。

（副会長）

道路には街路樹がないですが、このような形で仕上がりますか。

（事務局）

この道路整備については、今後審議する予定であり、街路樹につきましては、予定されておりません。ただし、美大の敷地側について、外構計画を今後詰めていき、緑化を少し充実させていくということで計画を進めております。外構計画については、５つの庭という説明をしましたが、その庭とのコンセプトと合わせながら、正面については殺風景ではなく、植栽をしていくということで検討中です。

（副会長）

県立図書館の駐車場が大きいため、どういうふうに使用していくのか気になります。

（事務局）

今、スライドで出させていただいているのが、県立図書館側の計画です。こちらは審議が終わり、昨年度報告させていただいたところですが、植栽計画については、敷地内の樹木を設けているところですが、道路際については、なるべく芝生などで緑化し、全体敷地の中で樹木を植える計画で進んでおります。

（会長）

このあたりは、桜並木が多く、図書館の方はそれをフィーチャーして頂けましたが、美大の方も植栽がうまくいくよう願っております。

（事務局）

美大につきましては、建築の方はおおむね了承を頂いておりますが、特に植栽については、追加の審議を次年度以降予定しております。

（C 委員）

関連の質問でいいですか。少しわかりにくいですが、おそらく旧金沢大学工学部跡地の建物周りの道路はものすごく狭いと思います。真ん中にはアクセス道路が入ることは理解していますが、今後、どういう風に考えていくのかお聞きしたいです。

（B 委員）

私も関連してですが、路線バスを学生が使われるとしたら、この中に入って U ターンが出来るのか、周回出来るのか、交通アクセスについてお聞きしたいです。

（事務局）

まず、１点目についてお答えします。道路計画としてはこちらの県道であり、それ以外の周辺の市道等については、具体的に拡幅するなどの話は、聞いてはおりません。逆に拡幅すると、おそらく通り抜けなどまた別の懸念が発生しうるおそれがあります。辰巳用水の方に美大と一体となった遊歩道の外構の計画というのは、聞いておりますが、それ以外の一般市道では特に予定は聞いておりません。

２点目のバスについてですが、県立図書館側の牛坂側にバスが入ってきて、戻っていくという計画で考えられていると聞いております。

（副会長）

アクセス道路が真ん中で、美大が向かい合う形ですね。

（C 委員）

出来れば県立図書館と美大を合わせたパースで見せてもらわないとわかりにくいです。

―――尾張町の無電柱化について（用みち部会）―――

（I 委員）

資料 4 の国道 159 号の尾張町の無電柱化についてですが、ここに視覚障害者誘導ブロック（黄色）と書いてありますが、この黄色という色の選定に関してお聞きしたい。その下の橋場町から兼六園下までの歩道に関して、視覚障害者の団体に協力していただき、アイボリー系より少し白っぽいような点字ブロックを使用していると思いますが、今回のこの黄色は、景観上、金沢市の街並みにふさわしいかどうかということで、どういう経緯で黄色に決まったのか教えてほしい。

（事務局）

現況の黄色については、振り幅がありますが、濃い黄色ではなくて、淡い黄色で設定しております。黄色については景観上、調和するかどうかがまず景観の面であるかと思いますが、やはり点字ブロックというところもあり、機能面では、黄色であることが、前提としてあります。

基準では、原則黄色ということで定めがあるなかで、昨今、道路につきましては、景観上調和した道路とするために修景することが多くある中で、点字ブロックを黄色にすることによって、輝度比が取れなくなり、逆に黄色が見えにくいこともあります。

このようなこともあり全国的にも、原則黄色ですが、道路の状況によっては、対比できるような形が取れていれば、具体的には輝度比が 2.0 となってきますが、それを守って、

計画することになっております。

今回議論となりましたのは、機能面を高める上で、濃い黄色にするかというようなことがありましたが、景観上調和させるためには少し影響があるのではないかということで、視覚障害者の方に協力を求め、実際に現地で確認を行いました。

その結果、弱視の視覚障害者の方に淡い黄色でも十分認識でき、景観との調和と機能面で双方満足するということで確認を取らせていただきました。

逆に今回、確認の中でわかったこととして、濃い黄色について、材質的に黄色の濃い色を出すためには、光沢があり、滑りやすい製品しかない現状であり、実際、障害者の方も健常者の方も歩いていて滑りやすいという問題が確認できたため、濃い黄色ではなくて淡い黄色にしようということとしました。

このことについては全国的にも様々な問題もありますので、今後も引き続き検討を進めてまいります。

（B 委員）

道路の広さで制限があると思いますが、今日も橋場町から来たら、結構人が歩いており、自転車も結構使用している。金沢市は至るところで、自転車の通行帯を作っておりますが、この付近はどういうふうに、自転車の関係はどう整備していくのかお聞かせください。

（事務局）

こちらの道路については、少し濃い目の部分がバスレーンの車線となっている。今ほど言われた自転車については、市内でも自転車レーンを設けている場所もありますが、今回はこちらを設けず、整備計画を進めているということです。

（C 委員）

今回は設けないということですか。

（事務局）

はい。

（C 委員）

大手堀の狭いところにも設けたら良いと思います。今回も狭い道路にはなりますが、自転車の通行帯は作りにくいのですか。

（事務局）

基本的には、市内、街中のところも含めて、自転車は車道を走っており、一部歩道を走っても良い区間としてということで認められます。

これについては国道との兼ね合いもあり、まだ市の方とも十分まだ確認をされていないため、今の段階でお答えできないです。ただ、歩道の幅員が 1.5mのところを自転車が通るということは、物理的にはありえないと思うので、車道の中でどういうふうに表示されるのかについては、確認をしていきたいです。

（B 委員）

歩道に自転車が走ることはないということですね。

（事務局）
　はい。
（会長）
　ほかにご質問、ご意見がございますか。以上、上期の景観施策、部会からの報告につきましては、了承することでよろしいですか。
（全員）
異議なし。

5　閉会